

かながわの交通

2023
11月号

交通安全年間スローガン受賞作品(全日本交通安全協会会長賞)

こども部門：子どもたちに交通安全を呼びかけるもの

暗い道たすけてくれる 反射材



第4回 かながわ バイク リカレントスクール (秦野自動車教習所)

道路の横断には気をつけて!

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵! 運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう!

**歩行者
事故
多発!**

◎県内の交通事故発生概況(令和5年10月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
令和5年		17,776	96	20,889
令和4年		17,204	85	19,870
増減数		+572	+11	+1019
増減率		+3.3%	+12.9%	+5.1%

	総数	男	女
県人口	9,229,713	4,574,246	4,655,467
免許人口	5,673,986	3,213,676	2,460,310
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.8人に1人



ホームページ

(県人口は令和5年10月1日、免許人口は令和5年9月末現在)

受賞おめでとうございます

警察本部長・地域交通安全活動推進委員協議会連絡協議会会長連名表彰

交通の安全と円滑を図るために活動している中で、顕著な功労のあった原則として在任期間10年以上の個人と、多年にわたる地道な推進委員協議会活動により顕著な功労があった団体を対象として毎年表彰しています。(敬称略)

交通安全功労者(個人50人)

山磯金	手子沢	中依石	田原島	和広美	俊子男	麻田三	生浦崎	蓬亀小	田井川	忠正修	繹身夫
伊戸鶴	南佐	小杉岡	野村井	幸芳良	子男之	三三葉	崎崎山	加須市	藤藤川	敏敏ク	夫エ子
保港	土旭	酒北	村井村	芳恒に	雄江雄	逗鎌鎌	子倉倉	山野林	内村林	信義修	房平子
青都都	緑	大江厚	島塚川	潔剛洋	子治明	藤藤茅	沢北崎	青福安	木室武	藤進詔	子二夫
瀬川臨	栄泉	鈴浅飯	木子塚	慶昭裕	郎子曜	平平小	塚塚原	上高高	田木瀬	憲和緑	明市弥
中高宮	幸	松森	本林野	正浩一	子曜樹	秦伊厚	野原木	熊林清	澤田森	敏敏庄	二美子
		小佐秋	元倉居	孝護英	一孝護	大座海	和間名	脇新佐	元倉々	一洋佳	敏敏公
		土安瀨	谷田倉	洋憲良	樹一一	相相相	原原南	徳吉清	田田水	敏敏公	子也作
		成都竹	間倉間	重	雄	相相相	南南南			数耕則	江江已

交通安全功労団体(3地区協議会)

旭警察署管内地域交通安全活動推進委員協議会	小磯 守
茅ヶ崎警察署管内地域交通安全活動推進委員協議会	佐藤 た 忍 子
相模原警察署管内地域交通安全活動推進委員協議会	田所 豊

飲酒運転根絶強化月間

実施期間

令和5年12月1日(金)～12月31日(日)の1か月間

目的

悲惨な交通事故を引き起こす飲酒運転を根絶するため、飲酒運転の危険性、悪質性を訴える運動を県民総ぐるみで展開します。

スローガン

乗る人に 飲ませるあなたも 犯罪者

重点

- ・ 飲酒運転根絶運動の周知徹底と広報啓発
- ・ 飲酒運転を助長する環境の根絶
- ・ ハンドルキーパー運動の推奨



藤沢市交通安全ポスターコンクール入賞作品
藤沢市立片瀬中学校2年(入賞当時) ほんだ まな 本田真菜さん

ハンドルキーパー運動とは

「自動車仲間と飲食店などへ行く場合に、お酒を飲まない人(ハンドルキーパー)を決め、その人が仲間を自宅まで送り届ける」運動です。

自転車安全整備制度推進関東ブロック会議

自転車安全整備制度(TSマーク制度)の普及・促進を図るため、10月4日(水)東京都新宿区において(公財)日本交通管理技術協会主催による「自転車安全整備制度推進関東ブロック会議」が開催されました。

この会議は、毎年、自転車商協同組合理事長や都道府県交通安全協会専務理事等が各ブロック毎一同に会し、開催されています。



表彰を受ける小島専務理事

会議の前に、令和5年、TSマークの普及促進に功労があった協会等に対する表彰があり、当県協会も「TSマーク普及促進優秀」で表彰されました。

会議では、TSマークの普及促進を図るための方策について活発な討議が行われました。

令和6年使用 交通安全ポスターデザイン募集

- ◆ **主催** 一般財団法人全日本交通安全協会 毎日新聞社
- ◆ **後援** 内閣府、警察庁、法務省等
- ◆ **協賛** 全国共済農業協同組合連合会
- ◆ **募集部門及び応募資格**

- ☆一般部門A＝運転者(同乗者を含む)に呼びかけるもの…誰でも応募可
- ☆一般部門B＝歩行者・自転車利用者に呼びかけるもの…誰でも応募可
- ☆こども部門＝こどもたちに交通安全を呼びかけるもの…中学生以下のみ応募可

◆ 応募要領

- ◎ 募集期間 令和5年11月下旬～令和6年1月31日(当日消印有効)
- ◎ 募集内容

① ポスターに使用するスローガン

各部門とも「令和6年使用交通安全年間スローガン」の内閣総理大臣賞受賞作品(令和5年11月下旬発表予定)を原文のまま使用すること。原文の漢字をひらがなやカタカナにしたり、句読点や括弧を付けるなど変形させた場合は審査対象とならない

② 作品サイズ

- ☆一般部門A、B B3判またはB3判相当の四ツ切り用紙 縦位置に限る
- ☆こども部門 B3判またはB3判相当の四ツ切り用紙 縦・横位置自由

(注) 印刷用のトンボ(断裁位置の目印)や余白は不要。障がい等で上記作品サイズを描くことが困難な場合は、「交通安全ポスター」事務局(毎日企画サービス内)に問い合わせください

③ 制作上の注意

本ポスターデザインは交通安全を訴えるものであることから、交通ルールを遵守したものとし、制作にあたっては特に以下の点に注意すること。ただし、危険性を訴える目的で信号機を擬人化するなど、制作上必要性が認められる場合は審査の際に考慮する

- ・ 信号機、標識、標示等を正しく描く
- ・ 車内の人物にはシートベルトまたはチャイルドシートを正しく着用させる
- ・ 自転車を素材にする場合は、ブレーキ等車体と乗り方を正しく描く、ヘルメットを正しく着用させる

④ 自作、未発表作品に限る。他者の知的所有権を侵害しないこと。他者の作品や顔写真、商品、商標等が作品中に含まれていると判断された場合は審査の対象とならない

⑤ 応募点数に制限はもうけない。共同制作も可

⑥ パソコンによる制作、レタリングやイラストレーションの使用、写真のデザイン化も可

◆ 賞 〈最優秀作〉

内閣総理大臣賞(各部門1点)賞状、盾と賞金10万円

令和6年春の全国交通安全運動のポスターとして使用されます

〈優秀作〉

内閣府特命担当大臣賞(各部門1点)賞状、盾と賞金3万円 令和6年秋の全国交通安全運動のポスターとして使用されます

文部科学大臣賞(こども部門1点)賞状、盾と図書カード(本人2万円・在学1万円)

〈優良作〉

警察庁長官賞(各部門1点)賞状、盾と賞金1万円

〈佳作〉

全日本交通安全協会会長賞(各部門1点)賞状、賞金5千円

毎日新聞社賞(各部門1点)賞状、賞金5千円

- ◆ **問い合わせ先** 毎日企画サービス内「交通安全ポスター」事務局
(TEL:03-6265-6815 平日午前10時～午後5時)

- ◆ **送り先** 〒262-0003 千葉市花見川区宇那谷町1501-2
株式会社ベターサービス「交通安全ポスター」係

- ◆ **発表** 令和6年3月中旬の毎日新聞紙上とホームページ、NHKテレビなど



令和5年使用交通安全ポスター
鈴木心晴さん作品

地域交通安全活動推進委員研修会の開催



秦野警察署管内地域交通安全活動推進委員協議会



相模原北警察署管内地域交通安全活動推進委員協議会

神奈川県公安委員会から委嘱を受けている地域交通安全活動推進委員(以下「推進委員」という。)は、道路交通法等を根拠に、「地域における交通の安全と円滑に資するための活動」として、交通安全教育、高齢者等の通行の安全を確保するための運動の推進、駐車・道路使用の適正化運動の推進、自転車通行の適正化運動の推進、安全、円滑のための広報・啓発、協力要請、住民への助言・援助、地域活動への協力・援助、交通状況調査等を県内各地で行っています。

そのため、推進委員には各種活動に必要な知識等を習得する機会が与えられており、公益財団法人神奈川県交通安全協会は、県公安委員会から県交通安全活動推進センターとして指定を受け、推進委員に対する研修を各協議会と連絡調整を図りながら実施しています。

交通指導員研修会の開催



厚木警察署管内交通安全協会



中原交通安全協会

交通指導員研修は、交通指導員事業運営要綱に基づいて実施することとされており、各地区で開催されております。

各地区交通安全協会では、県協会会長から委嘱の交通指導員と地区協会会長・役員等が集合し、警察署交通課長等から

- 管内の交通事故の発生状況
- 交通指導員の勤務及び留意事項

等についての講話を受講し、県交通安全協会配付の資料「道路交通法一部改正の要点」「運転免許を大切に」の冊子を活用して交通事故防止に対する指導要領等の研修を行いました。

交通事故の悲劇に学ぶ ①⑨

●「悪者」

I.D 運送業 (30代)

私は悪者です。

私を知っている人の中には私を悪者だと思っている人がいます。

しかし実際に私は、悪者と呼ばれても仕方ない大事件を犯してしまいました。

当時、私は勤務先のトラックで夜間の仕事をしていました。

事件を起こした日は、とても冷えた、雪の降る夜でした。通い慣れた道を使って現場に到着した私は、トラックに荷物を積み込むまでの待機時間を利用してスマートフォンのアプリで時間を潰していました。

作業開始から数時間で積み込みは終わり、その日の作業が終了しました。

いつもより1～2時間早く作業が終了したので、「今日はラッキー」と思い現場を後にしました。

そしていつものように通い慣れた道を使って帰宅に向い、5分ほど走ったところで大きな交差点に入りました。

私は、この交差点を右折する際、スマートフォンのゲームアプリに見入って、大事件を起こしてしまいました。

スマートフォンは直接手に持っていたのではなく、ハンドル前方のメーターに置き、何時でも見られるようゲームアプリは起動した状態にしていました。

私は普段から「手に持っていなければ大丈夫」という甘い考えからスマートフォンをメーターの前に置いて、地図などを見ていました。

しかし、この自分勝手な甘い考えが私を悪者にしたのです。

私が右折を始めると、横断歩道上で何か柔らかな物を踏んだような感触がハンドルから伝わってきました。

これは物ではない、人だと思い、急ブレーキをかけました。

しかし、トラックはすぐには止まらず、10メートルぐらい進んだ所でようやく止まりました。

私はすぐにトラックから降りて横断歩道上を確認しましたが、人らしい姿は見当たりませんでした。

そこで恐々トラックの下を覗いたところ、人の様な物が挟まっていました。

私は今まで頭の中が真っ白になった経験はありませんでしたが、この時初めて頭の中が真っ白になりました。

何をしたらよいかわからず、ただ呆然としていると、近くを歩いていた人達が救急車等の手配をし

てくれ、被害者に声を掛けるなどの救護活動を一緒にやってくれました。

今思えば、この人達がいなければ私は何も出来なかったと思います。とても感謝しています。

わずか数分間の出来事でしたが、私には何時間にも長く感じられました。

その後私は到着した警察官に逮捕され、手錠を掛けられました。

全てのことが初めてで、頭の中が整理できないまま取調べが始まりました。

そして私が少し落ち着いたところで「被害者の方が亡くなった」と教えられました。

警察の方は、私が物凄く取り乱していたので、落ち着いてから教えてくれたのだと思います。

その後、特に情報が得られぬまま三日ほど経ち、家族のもとに帰ることが出来ました。

そして裁判の結果、私は過失運転致死罪で禁固2年の刑を言い渡されました。

事件を起こしてから判決が出るまで1年近くかかりましたが、判決を聞くまでは生きた心地がしませんでした。

ようやく判決が決まったことで、少し「ホッ」としました。自分の中では「刑務所に入って反省してくれば、もう償いは終わった」と思っていました。

そのために受刑生活が始まった当初は「本当に私は悪い事をしたの?」といった無責任な考えから何もせず、無駄な日々を過ごしていました。

しかし、受刑生活が1年を経過したところから、その考えは大きな間違いだと気づき、自分勝手な考えを反省すると共に、少しは物事を深く考えられるようになりました。

そして、御遺族の心情に触れる教育を受けているうちに、自分本位の考えを改め「ご遺族の気持ちに寄り添った償いをしよう」という気持ちに変わってきました。

しかし、それは私の心の中の変化であって、御遺族にしてみれば、行動で示さない限り、これまでと同じ悪人・悪者でしかありません。

私はこれまで何一つ償いらしいことはしていませんが、これからは人生を掛けて、自分の過ちに対する償いを果たそうと考えています。

そのための第一歩として、御遺族の許しを得て直接謝罪をしたいと考えています。

そして少しでも御遺族の希望に沿える「償い」を続けたいと思っています。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行

「贖いの日々(第58集)」から～

この人

211



(一財) 鎌倉交通安全協会
会長

のむら しゅうへい
野村 修平さん



鎌倉交通安全協会は、昭和31年4月に設立され現在に至っております。

地域の特色としては神社や祭礼が多く、1月1日にその年の御加護を祈念する歳旦祭をはじめとした祭事等のイベントで始まり、節分祭・鎌倉祭り・鎌倉花火大会・鎌倉ビーチフェスタ・ぼんぼり祭り等により、交通渋滞が慢性化しているのが現状です。

さて、今回はこの「観光の都市鎌倉」の地で交通安全協会会長を務めております野村修平さんをご紹介します。野村さんは、生まれも育ちも鎌倉でこの地をこよなく愛する、生粋の鎌倉人であります。

鎌倉交通安全協会との関りは、平成2年6月から代議員として協会の事業運営に参加したのが始まりで、その後理事職を経て平成22年6月に会長に就任されました。

また、他のボランティア活動の傍ら、町内会長、学校評議員、ボーリング協会・湘南早朝リーグ

(野球)会長としてご自身の元気と健康を見極めながら活動され、地域の融和と振興にも貢献されています。

平成25年には、署の移転等に伴い職場環境が大きく変化し、事務所と証紙等販売所が一体化できていない状況が現在も続いています。

会長は、これからも労働環境を改善しながら、県交通安全協会、他の地区交通安全協会との協調・協力そして連絡調整が大切だと話しております。

今後も交通安全ボランティア活動の中心として、警察署や関係機関・団体と緊密な連携を取りながら、二輪車、高齢者の交通安全及び自転車のマナーアップを図り、市内全域に交通安全活動を浸透させていきたいと語っています。

これからも健康に留意され、益々のご活躍を願っています。

(取材協力：(一財)鎌倉交通安全協会)

こんにちは「秦野市交通安全協会」です

秦野市交通安全協会は、昭和23年3月、富士山を望む丹沢山系と湧き出る名水の街、秦野盆地に発足し風光明媚な地域で75年目を迎えました。

現在は、国道246号沿い秦野警察署隣に協会事務所を構え、事務長と女子職員4名により、市内の免許人口10万人余の更新業務のサポートに努めています。

さて、今年はコロナ感染症も第5類となり9月23日(土)・24日(日)、秦野市最大の観光イベントとして「第76回秦野たばこ祭」が開催されました。

秦野市のたばこ栽培の歴史は古く、富士山の噴火による火山灰の影響で壊滅的な被害を受けた江戸時代からたばこの栽培がおこなわれてきました。当安全協会発足と同じ昭和23年、たばこの葉の生産農家をねぎらうための事業として始まったお祭りです。昭和59年に市内でのたばこ耕作は終了したものの、歴史を後世に伝えるために名称を変えず、昭和63年から「火」をテーマに工房の火祭、ジャンボ火起こし綱引きコンテスト、打ち上げ花火等が盛大に行われています。本年は、俳優



吉田栄作、元女子プロ野球選手加藤優、LUNA SEA真矢さん等が秦野ふるさと大使として各行事に参加する中、お祭り最初のオープニングパレードである交通安全防犯パレードに秦野市交通安全協会古谷光一会長を先頭に秦野市交通安全協会役員、秦野警察署管内地域交通安全活動推進委員協議会、交通指導員、母の会のメンバー約50人がパレードに参加し、交通安全を市民に広く楽しく呼びかける等、交通安全啓発活動を推進しました。

今後も、古谷会長以下役員等と悲惨な交通事故を無くすため警察署、行政、関係機関団体とともに一致協力し各種交通安全活動に邁進していく所存です。
(事務長 記)

地区交通安全協会の活動紹介



伊勢原 伊勢原駅構内における秋の全国交通安全運動キャンペーン



海老名市 横浜厚木線におけるバイクの日街頭キャンペーン



港南 港南台駅前における秋の全国交通安全運動キャンペーン



相模原北 橋本駅前における秋の全国交通安全運動キャンペーン



横須賀南 北久里浜駅前における秋の全国交通安全運動キャンペーン



宮前 鷺沼駅における秋の全国交通安全運動キャンペーン



高津 武蔵溝ノ口駅前における秋の全国交通安全運動キャンペーン



大磯地区 大磯警察署前における秋の全国交通安全運動キャンペーン

交通安全活動

賛助会員の紹介

このコーナーでは(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています(敬称略)。

- 京浜急行バス株式会社 ————— 横浜市西区
- 株式会社 優志建設(旧社名: 株式会社 青木組) ————— 伊勢原市桜台
- 山下秀男 ————— 川崎市幸区

賛助会員入会のお願い

公益財団法人神奈川県交通安全協会では、交通事故のない安全で安心な交通社会を実現するため様々な交通安全事業を行っております。交通事故防止活動に賛同していただける「賛助会員」としての入会をお願いいたします。

インフォメーション

- 飲酒運転根絶強化月間 ————— 12月中
- セーフティライダースクール ————— 12月9日(土) 運転免許センター
- 年末の交通事故防止運動 ————— 12月11日(月)～20日(水)